

## 「都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会」 の続行を求める要望書

### 〈要望〉

募集当初の告知通り、今後も意見交換会を続行してください。募集時の要項を変更し意見交換会を打ち切るときは、その理由を明確に示していただくよう要望します。

2019年4月18日までに、文書でのご回答をお願いします。

### 〈願意〉

2017年秋に東京都建設局主催で、年に2回程度継続して行うとして参加者を募り、実施された意見交換会が、たった3回の開催で、2019年2月8日、打ち切りを宣言されました。「東京都がのぞんだ形での意見交換会とならなかったため」という理由は、あまりに一方的で、到底納得できるものではありません。

今後はオープンハウスに移行するとの方針が示されましたが、オープンハウスは事業化を前提に、パネル展示や資料の配布で広く理解を促すもので、意見を聴取するには適していません。意見交換会を打ち切るということは、「もう住民の意見は聞かない」と宣言されたことと同義です。

2017年に都が参加者を募集したときに、小金井市民、沿線住民、沿線町会関係者と、非常に狭く限定された範囲、合わせてたったの50名という人数、そもそも事業化を前提としていることなど、その運営の在り方そのものに疑問を感じ、都へ改善を求めました。議事録や傍聴についても、住民側から提案して認められました。私たちは受け身ではなく、後年の検証に耐えうるような、建設的な話し合いになるようはたらきかけてきました。

私たち住民の多くは、地域の大切な資源である国分寺崖線周辺の環境や景観、住環境が著しく損なわれる可能性のある道路の必要性について、現状の都の説明には納得しがたい、という思いが強くあります。必要性や選定のプロセスに関しての疑問点が明らかにならない限り、環境や景観への配慮について議論することは出来ません。

都は「住民の意見を聞いていねいに進める」との意向を示していますが、事業化を進めるためには、住民と都側、両者のへだたりを埋め、誰もが納得できるプロセスを経る必要があります。主催者である都の責任において、意見交換会を建設的な議論が出来る場に変え、今後も継続して住民との話し合いを行ってください。

西岡真一郎小金井市長および小金井市議会も、意見交換会の続行を求めています。地元の意志は明らかです。地方自治の理念にしたがって、地元の意見を尊重してください。誠意ある対応を、強く求めます。

## 賛同者一覧 (35 名)

麻生貞子

阿部達

江頭輝

大内善博

大久保結

陣内直行

春原真子

水谷多加子

百瀬和浩

山田智佳子

磯辺美希

泉富夫

今中京平

内田雄二

岡村研二

金山乃婦子

川島昭彦

小山美香

齊藤円華

高橋実

中村進

中村信子

矢澤朋香

安田桂子

安永千秋

川幡長勝

川幡由利子

漢人明子

酒井美帆

佐藤宮子

下津彩子

林倫子

保泉桂子

山田 久爾枝

横須賀雪枝